

第 50 回粘土科学討論会のお知らせ

■主催：日本粘土学会

■共催：資源・素材学会，資源地質学会，ゼオライト学会，地盤工学会，日本化学会，日本火山学会，日本岩石鉱物鉱床学会，日本鉱物学会，日本セラミックス協会，日本セラミックス協会原料部会，日本第四紀学会，日本地学教育学会，日本地球化学会，日本地質学会，日本土壌肥料学会，日本熱測定学会，日本ペドロジー学会，農業土木学会

■期間：平成 18 年 9 月 7 日（木）～9 日（土）

■会場：千葉科学大学 マリーナキャンパス 講義棟

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町 3 番地，TEL 0479-30-4642（安藤）

■日程：9 月 7 日（木）午後の日程が変更となっています。

	9 時	10	11	12	13	14	15	16	17	18
9 月 7 日 （木）	/		①	受付	口頭発表		ポスター		②	/
9 月 8 日 （金）	口頭発表		総会	③④	会長 講演	シンポジウム			懇親会	
9 月 9 日 （土）	口頭発表			⑤⑥	公開市民講座		/			

①：平成 18 年度常務委員会，②：平成 18 年度評議委員会，③：平成 19 年度評議委員会，

④：平成 19 年度常務委員会，⑤：「粘土科学」編集委員会，⑥：「Clay Science」編集委員会

■参加登録

9 月 7 日（木）正午からマリーナキャンパス講義棟 1 F ロビーにて受け付けます。

参加登録料：会員（共催学会員を含む）3,000 円，学生会員 1,000 円，非会員 5,000 円

講演要旨集代：3,000 円

懇親会費：一般 6,000 円，学生 3,000 円

■会場案内：千葉科学大学 マリーナキャンパス 講義棟

受付・・ エントランス（1F）

休憩室・・ 2205 講義室（2F）

総会，シンポジウム，特別講演・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2208 講義室（2F）

一般講演 A・・ 2102 講義室（1F）

一般講演 B・・ 2104 講義室（1F）

ポスターセッション・・ 厚生棟

平成 18 年度常務委員会（9 月 7 日（木）11：00～）・・・・・・・・・・ 危機管理学部棟 4206 共同研究室（2F）

平成 18 年度評議委員会（9 月 7 日（木）17：00～）・・・・・・・・・・ 同上

平成 19 年度常務委員会（9 月 8 日（金）12：00～）・・・・・・・・・・ 同上

平成 19 年度評議委員会（9 月 8 日（金）上記会議終了後）・・・・・・・・ 同上

「粘土科学」編集委員会（9 月 9 日（土）12：00～）・・・・・・・・・・ 同上

「Clay Science」編集委員会（9 月 9 日（土）12：00～）・・・・・・・・ 同上

注：喫煙される方は所定の場所にてお願いします。

■会長講演

- 開催日時：2006年9月8日（金）13：00～14：00
- 会場：千葉科学大学 マリーナキャンパス 講義棟 2208 講義室
- 座長：坂本尚史
- 題目：「自然からの贈りもの ―粘土とその科学―」
渡辺 隆（上越教育大学）

■シンポジウム

- 開催日時：2006年9月8日（金）14：00～18：00
- 会場：千葉科学大学 マリーナキャンパス 講義棟 2208 講義室
- 座長：山崎淳司，鬼形正伸，宮脇律郎
- テーマ：「蛇紋石 環境と深く関わる層状ケイ酸塩」
- 趣旨：

近年、大きな社会問題として注目される石綿の主要鉱物には蛇紋石の1種であるクリソタイルがあります。また、地すべりや断層など自然災害の要因にも蛇紋石は深く関わっています。一方で、地球温暖化に対処するべく蛇紋岩帯へ二酸化炭素を固定する技術開発が注目を集めています。そこで、今一度、蛇紋石について、最近の研究動向を踏まえ、粘土科学の観点からの考察を試みたいと思います。

- 蛇紋石の鉱物学的研究動向（14:00～14:30）

上原 誠一郎（九州大学大学院理学研究院地球惑星科学部門）

- 蛇紋岩の特性と地すべり発生機構（14:30～15:00）

矢田部 龍一（愛媛大学工学部環境建設工学科）

- 断層のすべり特性と断層物質（15:00～15:30）

堤 昭人（京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻地質学鉱物学分野）

休憩

- 蛇紋岩体の地化学環境を利用したCO₂固定化研究（15:40～16:10）

二ノ宮 淳（住鉱コンサルタント株式会社技術開発部）

- 蛇紋石の分別分析法と労働衛生および地球科学的意義（16:10～16:40）

神山 宣彦（東洋大学経済学部自然科学研究室）

- 総合討論（16:40～17:30）

■関連行事

A. 公開市民講座

- 開催日時：2006年9月9日（土）13：00～15：00
- 会場：千葉科学大学 マリーナキャンパス 講義棟 2208 講義室
- テーマ：「身近に使われている粘土」
 - 1) 粘土とは何だろう 渡辺 隆（上越教育大学）
 - 2) セラミックスと粘土 岡田 清（東京工業大学）
 - 3) 化粧品と粘土 手塚昭雄（株式会社ボディクレイ）
 - 4) 建設と粘土 土壌汚染とは？そして対策技術とは？ 久保 博（大林組技術研究所）
 - 5) 化学工業と粘土 古賀 楨（胎内粘土・鉱物資料館）

B. ミニ粘土展

- 開催日時：2006年9月7日（木）～9日（土）

●会場：千葉科学大学 マリーナキャンパス 講義棟 ロビー (1F)

●内容

- 1) 展示コーナー：★粘土細工用粘土，★焼き物粘土とその陶磁器，★千葉県の粘土，★100円ショップの粘土製品，★型粘土，★製紙、フィルム，★化粧品及び関連製品，★処分場模型，等
- 2) 実験コーナー：★膨れる粘土（バーミキュライト），★膨れる粘土（モンモリロナイト），★吸着粘土（活性白土），★ゾル⇄ゲル変換（合成スメクタイト），等
- 3) おみやげコーナー：★ベントナイト小塊配布（予定）

■総会：9月8日（金）11：00～12：00 講義棟 2208 講義室

■懇親会

日時：平成18年9月8日（金）18：30～

場所：銚子プラザホテル（JR銚子駅前）

会費：一般 6,000円，学生 3,000円

申込：本号に添付する『第50回粘土科学討論会懇親会申込書』に参加者氏名・所属を記入して，ファックスにて申し込みをお願い申し上げます。

■講演発表者へのお願い

A. 口頭発表

使用機器：PC+液晶プロジェクター及びOHC（書画カメラ）

講演時間：15分（発表12分，質疑3分，交代時間を含む）

- 実行委員会で準備する発表用PCは，OSがWindows XP，プレゼンテーションソフトはPowerPoint 2003となります。（Mac使用をご希望の方は，講演60分前まで受付にお知らせください。）
- 発表用ファイルは，USBメモリーかCDに入れ，講演番号と講演者名を明記し，講演60分前まで受付にご提出下さい。特に，9月7日（木）午後の口頭発表者の方は，当日12時30分までに受付にご提出下さい。
- OHC（書画カメラ：紙原稿を液晶プロジェクターにてそのまま映写）を準備いたします。講演者の方はバックアップ用として紙原稿を必ず準備してください。
- PC及びOHCは講演者ご自身で操作してください。

B. ポスターセッション

- ポスター発表には，120cm（幅）×180cm（高さ）のパネルスペースを用意します（サイズを変更しています）。タイトルも用意してください。
- 発表者は9月7日（木）正午から展示できます。15時までに貼り付けを完了し，17時まで展示してください。展示物は17時30分までに取り外してください。ポスター討論時間帯にはポスター前で説明をお願いします。

C. やむを得ず，発表を取り消される場合は，できるだけ早く以下までご連絡ください。

〒288-0025 銚子市潮見町3番地

千葉科学大学 危機管理学部 環境安全システム学科内

第50回粘土科学討論会実行委員会 安藤 生大（アンドウ タカオ）

Tel・Fax：0479-30-4642，電子メールによる問い合わせ：tando@cis.ac.jp

■講演プログラム

9月7日(木)

一般講演 口頭発表 A会場(2102)

座長：米田 哲郎(北海道大院・工) 13:00-14:00

- A1. 走磁性バクテリアにおける greigite ナノ粒子の磁化構造
○笠間 丈史 (Dept. of Materials Science and Metallurgy, University of Cambridge, UK)・Posfai Mihaly (Dept. of Earth and Environmental Sciences, University of Veszprem, Hungary)・Dunin-Borkowski Rafal・Chong Ryan (Dept. of Materials Science and Metallurgy, University of Cambridge, UK)・Buseck Peter (Dept. of Geological Sciences, Arizona State University, Tempe, AZ, USA)・Frankel Richard (Dept. of Physics, California Polytechnic State University, San Luis Obispo, CA, USA)
- A2. 地衣類 - 瓦釉薬接触面に生成している鉄チタン鉱物
○渡邊 克晃 (広島大院・理)・大藤 弘明 (愛媛大・地球深部ダイナミクス研究センター)・安東 淳一・北川 隆司 (広島大院・理)
- A3. 炭酸塩鉱物析出速度に及ぼす光合成微生物の影響の定量化
○河野 元治・小保方 寿峰 (鹿児島大)
- A4. バイオクレーとその応用 - <晶子染め>の特徴 -
○田崎 和江・白木 康一 (金沢大院・理)

座長：河野 元治(鹿児島大) 14:00-15:00

- A5. 炭素質コンドライトから見た原始太陽系星雲内での変質作用
○宮原 正明 (東北大院・理)・上原 誠一郎 (九州大院・理)・大谷 栄治 (東北大院・理)
- A6. 風化環境下にある泥質岩の鉱物変化の解析
○米田 哲朗・柏谷 公貴・林 謙二 (北海道大院・工)
- A7. 南インド Chaliyar 川の砂金の粒子形態と化学組成
○中川 昌治・M. Santosh (高知大・理)・C.G. Nambiar・G.N. Hariharan (Department of Marine Geology and Geophysics, Cochin University of Science and Technology)
- A8. ネパールにおける弱変質花崗岩中に生成しているギブサイトの成因
○北川 隆司 (広島大院・理)・地下 まゆみ (千葉科学大・危機管理)・矢田部 龍一 (愛媛大・工)

一般講演 口頭発表 B会場(2104)

座長：橋爪 秀夫(物・材機構) 13:00-14:00

- B1. Li型ゼオライトによるアルカリ骨材反応抑制効果
○上原 元樹 (鉄道総研)・石田 正和 (早稲田大・理工)・円城寺 守 (早稲田大・教育)
- B2. Reaction of NaP1 Artificial Zeolite with acids of different anion species in relation to acid soil amelioration
○Munthali Moses・松枝 直人・逸見 彰男 (Faculty of Agriculture Ehime University)
- B3. インドネシア・ジャワ島西部地域における天然ゼオライトの調査および鉱物学的性質について
○小辰 望 (龍谷大)・Edy M. (Arsadi R&D, Geotechnology Center, INDONESIA)・NELSON SEMBIRING (R&D, East Java Province, INDONESIA)・白神 達也・後藤 義昭 (龍谷大)

B4. 前駆体ゼオライトAからの単斜晶セルシアン生成に及ぼすメカノケミカル効果

○松本 泰治・加藤 栄 (栃木県産業技術センター)・後藤 義昭 (龍谷大)

座長: 上原 元樹 (鉄道総研) 14:00-15:00

B5. カチオン性ポリマーゼオライトY複合体の合成とアンモニウムイオン、リン酸イオン吸着能

○吉田 正人・後藤 義昭 (龍谷大)・新井 幸三 (KR羊毛研究所)・松本 泰治 (栃木県産業技術センター)

B6. 銀イオン交換ゼオライトの調製およびリン酸イオンとアンモニアの吸着

○後藤 義昭・日野 洋輔 (龍谷大)・松本 泰治 (栃木県産業技術センター)・荻原 俊夫 (足利工業大)

B7. リン酸/Mg-モンモリロナイト吸着複合体とリボースの相互作用

○橋爪 秀夫 (物・材機構)・Sjerry Van der Gaast (Royal Netherlands Institute for sea Research)・Benny K.G. Theng (Landcare Research)

B8. リン酸イオン高選択性無機イオン交換体を用いた排水からのリン回収 - 効率的かつ経済的な再資源化方法について -

○川本 有洋 (富田製薬 (株) 商品企画開発室)・大久保 彰 (富田製薬 (株) 研究開発部)・大島 久満・桑原 智之・佐藤 利夫 (島根大・生物資源科学)

9月8日 (金)

一般講演 口頭発表 A会場 (2102)

座長: 山田 裕久 (物・材機構) 9:00-10:00

A9. 冥王代粘土を示唆する水・橄欖石衝撃起源蛇紋石

○中沢 弘基 (物・材機構)・古川 善博 (東北大院・理)・関根 利守 (物・材機構)

A10. イモゴライト合成時の加熱時間における特性変化について

○鈴木 正哉・犬飼 恵一・前田 雅喜 (産総研)

A11. 尿素を用いた均一沈殿法による層状複水酸化物の合成: 合成条件と副生成物

○日比野 俊行・大矢 仁史 (産総研)

A12. FeOOH 鉱物の生成における陰イオンの役割 - 種々の陰イオンで置換したシュベルトマナイトの合成実験からの考察 -

○井上 厚行 (千葉大・理)・八田 珠郎 (国際農研)

座長: 山崎 淳司 (早稲田大・理工) 10:00-11:00

A13. 層状複水酸化物の熱分解物による水中からのホウ酸イオンの除去

佐藤 寛恵・○平原 英俊・會澤 純雄・高橋 諭・成田 榮一 (岩手大院・工)

A14. アルカリ環境におけるスメクタイトの溶解速度とバリア性能の長期評価

○佐藤 努・大谷 祐介・高山 英樹・米田 哲朗 (北海道大院・工)

A15. 製紙スラッジ焼却灰から機能性材料の合成およびその機能

○福垣内 暁・浦元 明・市浦 英明・森川 政昭 (愛媛県紙産業研究センター)・京極 昌一・永島 孝作 ((株) リンテック)・山本 徹・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)

A16. 高反応性製紙スラッジ (PS) 焼却灰のゼオライト A への転換反応速度要因

○安藤 生大・大高 慶子・地下 まゆみ・坂本 尚史 (千葉科学大・危機管理)・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)

一般講演 口頭発表 B会場 (2104)

座長： 高木 慎介 (首都大院・都市環境) 9:00-10:00

B9. Chemical species of amines affecting their adsorption on allophane

○アビディン ザエナル・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大)

B10. ハイドロタルサイトに対する無機陰イオンの吸着機構—端面吸着の影響評価—

○森本 和也・佐藤 努・米田 哲朗 (北海道大院・工)

B11. シュベルトマナイト鉱物表面における吸着陰イオン種の選択性

○高田 盛生 (北海道大院・工)・福士 圭介 (ジョンズ・ホプキンス大学地球惑星科学)・佐藤 努・米田 哲朗 (北海道大院・工)

B12. パーミキュライト/アロフェン混合系で作製した保水性材料

○岡田 清・松井 俊介・磯部 敏宏・亀島 欣一・中島 章 (東京工大)

座長： 岡田 清 (東京工大) 10:00-11:00

B13. 粘土鉱物表面における有機色素分子配向変化挙動の熱力学的、および速度論的検討

○高木 慎介 (首都大院・都市環境)・江口 美陽 (首都大院・都市環境, JSPS)・新居 正光・嶋田 哲也・立花 宏 (首都大院・都市環境)・井上 晴夫 (首都大院・都市環境, JST/SORST)

B14. 層状複水酸化物およびシクロデキストリンとの複合体への抗菌剤のインターカレーション

○中山 尋量・樋口 剛史・津波古 充朝 (神戸薬科大)

B15. 色素/有機修飾粘土ハイブリッド型高輝度発光材料の創製

○伊藤 崇倫 (名古屋大院・工)・笹井 亮・伊藤 秀章 (名古屋大・エコトピア科学研究所)

B16. サポナイト層間のルテニウムトリスピリジン (II) 錯体の SO_x による消光

○岡田 友彦・今野 高宏 (早稲田大・教育)・小川 誠 (早稲田大・教育, 早稲田大院・理工)

9月9日 (土)

一般講演 口頭発表 A会場 (2102)

座長： 井上 厚行 (千葉大・理) 9:00-10:00

A17. マイクロフォーカス X線 CT によるベントナイト-珪砂混合体の微細構造観察

○河原木 千恵・中村 祐亮・金子 勝比古・佐藤 努・米田 哲朗 (北海道大院・工)

A18. 携帯型近赤外測定装置を用いたベントナイトライナーの均質性評価

○中村 祐亮・河原木 千恵・佐藤 努・米田 哲朗 (北海道大院・工)

A19. Adsorption of water on nano-ball as affected by heat treatment, infrared and X-rays powder diffraction data

○Khan Hamayoon・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)

A20. 酸化物表面への As(III/V)吸着と表面 speciation の予測モデル

○福士 圭介・スベルジェンスキー デイミトリ (Johns Hopkins University)

座長： 日比野 俊行 (産総研) 10:00-11:00

A21. モンモリロナイト/水 分散液における導電率と粘度との関係

○鈴木 啓三・佐藤 努（北海道大院・工）・榎戸 洋之（クニミネ工業（株））

A22. 高アルカリ環境下におけるスメクタイトの溶解速度への ΔGr の影響

○大谷 祐介・佐藤 努・米田 哲朗（北海道大・工）

A23. アルカリ環境におけるサポナイト溶解の速度論的研究 ―モンモリロナイトの溶解速度との比較―

○横山 信吾（電中研）・佐藤 努（北海道大院・工）・田中 幸久（電中研）

A24. 加熱AFM法によるスメクタイト及び白雲母の高pH下での溶解その場観察

○桑原 義博（九州大院・比較社会文化）

座長：北川 隆司（広島大院・理） 11：00－12：00

A25. 隣接した谷における地すべりと粘土鉱物・土質・水質の特徴

○野尻 博美・田崎 和江・白木 康一（金沢大院・理）

A26. 斑レイ岩の風化変質過程

○富田 武志・小林 祥一（岡山理科大院・理）・坂本 尚史（千葉科学大・危機管理）

A27. 地学教育における粘土圏の概念の展開

○永田 洋（都立雪谷高校）

A28. 風化作用による粘土形成機構と生成粘土・天然ゼオライト等の混合体の重金属等の吸着固定反応

○湊 秀雄（東京大・兵庫教育大）・森本辰雄（(株) アステック）

一般講演 口頭発表 B会場 (2104)

座長：笹井 亮（名古屋大・エコトピア科学研究所） 9：00－10：00

B17. 層状複水酸化物への芳香族アルデヒドのインターカレーション

○増淵 綾香・會澤 純雄・平原 英俊・高橋 諭・成田 榮一（岩手大院）

B18. 無機層状化合物へのペプチド類の取り込み挙動

○安武 愛子・會澤 純雄・平原 英俊・高橋 諭・成田 榮一（岩手大院）

B19. 層状複水酸化物の迅速デラミネーションと高分子材料への複合化

○竹重 友視・平原 英俊・會澤 純雄・成田 榮一（岩手大院）・池松 大作・奥宮 毅（ライカ（株））

B20. 層状ケイ酸塩への非イオン性界面活性剤のインターカレーション

○高橋 信行・田村 浩晃・望月 大（早稲田大・理工）・木村 辰雄（産総研）・黒田 一幸（早稲田大・理工, CREST, JST）

座長：佐藤 久子（東大院・理） 10：00－11：00

B21. 有機変性無機層状化合物/ハロゲン化ポリマー複合体の特性

○三塚 拓人・佐藤 久美子・平原 英俊・會澤 純雄・成田 榮一（岩手大院）

B22. 天然セリサイト/ポリアミド6ナノコンポジットのガスバリア特性

○宇野 光（物・材機構, 法政大・工）・田村 堅志・山田 裕久（物・材機構）・守吉 佑介（法政大・工）

B23. 粘土層間でのジアリールエテン類のフォトクロミズム

○笹井 亮（名古屋大・エコトピア科学研究所）・小野 太一・高木 克彦（名古屋大院・工）

B24. 異種有機物が共吸着したモンモリロナイトの非極性ゴムへの分散

○小森 佳彦（SRI 研究開発）

座長：成田 榮一（岩手大院） 11：00－12：00

B25. LB 法によって作成した粘土単一層膜修飾電極における電荷輸送過程の研究

○吉田 純 (東大院・理)・佐藤 久子 (東大院・理, CREST)・猿渡 和子・亀田 純 (東大院・理)・ビルモア ジル (The University of New Brunswick)・山岸 皓彦 (CREST, お茶大・理)

B26. 鉱物と PAHs の相互作用

○玉村 修司・佐藤 努・大田 由貴恵 (北海道大院・工)・唐 寧・早川 和一 (金沢大院・自然科学)・米田 哲朗 (北海道大院・工)

B27. イモゴライトとポリスチレンビーズを用いた階層構造体の合成

○黒田 義之・玉越 守・村上 淳之介 (早稲田大・理工)・黒田 一幸 (早稲田大・理工, CREST)

B28. モンモリロナイト-非両親媒性金属錯体複合ラングミュア-プロジェクト膜の積層構造と分光学的性質

○清家 隆一・古川 優・川俣 純 (山口大院・医学)

9月7日 (木)

ポスターセッション 15:00-17:00

P1. 中部九州の蛇紋岩の構成鉱物

○川野 宏・猪尾 晃生・上原 誠一郎 (九州大・理)

P2. フィリピンレイテ島地すべり地の粘土鉱物について

○地下 まゆみ・上野 宏共・坂本 尚史 (千葉科学大・危機管理)

P3. 新潟第三紀系にみられる緑泥石やコレンサイトの産状について

○大場 孝信 (上越教育大・自然系)・青木 実 (埼玉栄高等学校)

P4. 金属鉱床に伴う K-NH₄系雲母鉱物-ポリヴィア SanJose 鉱山錫鉱床の例-

○坪本 哲英・東 正治 (高知大・理)

P5. イモゴライトの合成過程におけるケイ素とアルミニウムの化学状態変化 -液体および固体 NMR スペクトルによる解析-

○鈴木 正哉 (産総研)・平舘 俊太郎 (農業環境研)

P6. プロトイモゴライト合成時における水和アルミニウムケイ酸塩の収率と組成比について

○鈴木 正哉・犬飼 恵一・前田 雅喜 (産総研)

P7. チタニウムテトライソプロポキシド存在下でのスメクタイトの合成

○松友 隆幸 (早稲田大院・理)・岡田 友彦 (早稲田大・教育)・小川 誠 (早稲田大院・理工, 早稲田大・教育)

P8. アルミニウムゲルマニウム酸塩ナノチューブの合成

○大川 政志・平尾 好宏・山下 浩・前川 尚 (愛媛大院・理工)・宮本 早苗・犬飼 恵一 (産総研)・山口 力 (愛媛大院・理工)

P9. 尿素法による Al-リッチな Zn-Al 系層状複水酸化物の合成

藤原 大輔・會澤 純雄・平原 英俊・○成田 榮一 (岩手大院・工)

P10. Zinc-stevensite syntheses from aqueous starting materials at relatively low temperatures

○パスクワ チェロ・山田 裕久・田村 堅志 (物・材機構)・八田 珠郎 (国際農研)・佐藤 努 (北海道大院・工)

P11. タルク/タルク/スメクタイト規則型混合層鉱物の合成

○山田 裕久・田村 堅志 (物・材機構)・横山 信吾 (電中研)・八田 珠郎 (国際農研)・渡邊 隆 (上越教育大)

P12. 規則型混合層珪酸塩ポリマーナノコンポジット

○田村 堅志・山田 裕久 (物・材機構)・宇野 光 (物・材機構, 法政大)・倉嶋 敬次 (物・材機構)・八田 珠郎 (国際農研)

- P13. 粒径を制御した MgAl 系層状複水酸化物の合成
○井伊 伸夫・岡本 健太郎・佐々木 高義 (物・材機構)
- P14. X 線回折パターンからのベントナイト組織構造の解析
○諸留 章二・河村 雄行 (東京工業大)
- P15. 有機修飾モンモリロナイトの吸着特性
○関 瑤子・岡田 友彦 (早稲田大・教育)・小川 誠 (早稲田大・教育, 早稲田大院・理工)
- P16. 層状複水酸化物からの炭酸の熱脱離挙動
○鈴木 雄太 (早稲田大院・理工)・小川 誠 (早稲田大院・理工, 早稲田大・教育)
- P17. レピドクロサイト型層状チタン酸塩へのアルキルトリメチルアンモニウムイオンのインターカレーション
○布施 康史・井出 裕介 (早稲田大院・理工)・小川 誠 (早稲田大院・理工, 早稲田大・教育)
- P18. 硝酸型層状複水酸化物を用いた剥離・再構築
○松本 邦彦・中山 尋量・津波古 充朝 (神戸薬科大)
- P19. 層状複水酸化物への α -リポ酸のインターカレーション
○小坂 真義・中山 尋量・津波古 充朝 (神戸薬科大)
- P20. ローダミン 6G インターカレーションによる層状ケイ酸塩/クマリン複合体の発光特性変化
○藤井 和子・井伊 伸夫 (物・材機構)・笹井 亮 (名古屋大・エコ環境)
- P21. 多孔性の異なる層状複水酸化物からの層状複水酸化物/オレイン酸複合体の作製と耐酸性挙動
○小幡 宏美・亀島 欣一・中島 章・岡田 清 (東京工業大院・理工)
- P22. チタニア/スメクタイト複合体の細孔制御とその吸着特性
亀島欣一・井川史彦・中島 章・○岡田 清(東京工業大院・理工)
- P23. ナノ粒子ハイドロタルサイトの有害陰イオン吸着挙動
○井上 佳美・若狭 寛幸・本郷 照久・山崎 淳司 (早稲田大・理工)
- P24. 角度可変偏向赤外分光測定によるスメクタイト層間水配向構造の研究
○鈴木 覚 (産業創造研究所)
- P25. カオリナイト粒界における水の挙動 - 分子動力学シミュレーション
○河村 雄行 (東京工業大)
- P26. 低温における層状ケイ酸塩鉱物の生成に対するアルミニウムの影響
○浅井 篤史 (北海道大院・工)・Chelo Pascua (物・材機構)・佐藤 努・米田 哲朗 (北海道大院・工)
- P27. 原子間力顕微鏡による高純度粘土のマイクロ摩擦力測定
○久常 雄大 (岩手大院・工)・大河原 正文 (岩手大・工)・三田地 利之 (北海道大院・工)
- P28. スメクタイトの残留状態におけるせん断面中の吸着水・層間水の状態分析
○大河原 正文 (岩手大・工)・大久保 幸倫 (岩手大院・工, 現: 基礎地盤コンサルタンツ)・三田地 利之 (北海道大院・工)・千葉 真澄 (岩手大・工)
- P29. 原子間力顕微鏡の画像解析と鉱物の溶解速度算出への応用
○高山 英樹・大谷 祐介 (北海道大院・工)・筒井 政則 (金沢大院・自然科学)・佐藤 努・米田 哲郎 (北海道大院・工)
- P30. ポルフィリン/粘土による透明薄膜の合成および光捕集系としての機能性
○小野寺 真吾・浜谷 悟司・高木 慎介・嶋田 哲也・井上 晴夫 (首都大東京院)
- P31. 粘土上におけるポルフィリンの吸着挙動とエネルギー移動
○浜谷 悟司・小野寺 真吾・高木 慎介・嶋田 哲也・井上 晴夫 (首都大東京院)
- P32. 長鎖アルキルアンモニウム - 粘土層間化合物への芳香族化合物の吸着
○師井 宏彰 (早稲田大院・理工)・岡田 友彦 (早稲田大・教育)・小川 誠 (早稲田大・理工, 早稲田大・教育)
- P33. Removal of odorous vapors by their adsorption on allophane

- アビディン ザエナル・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)
- P34. Mg-Al 系層状複水酸化物による水溶液中からの臭素酸イオンの除去
吉田 誠・○會澤 純雄・高橋 諭・平原 英俊・成田 榮一 (岩手大院・工)
- P35. Fe 置換イモゴライトによる芳香族炭化水素の酸化
○大川 政志・高田 裕・前川 尚 (愛媛大院・理工)・鈴木 正哉 (産総研)・山口 力 (愛媛大院・理工)
- P36. 炭化物共存下におけるゼオライト合成反応
○松原 誉詩夫・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)
- P37. Synthesis of TiO₂-high silica zeolite from waste materials and its photo-catalytic properties
○Johan Erni・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)
- P38. 人工ゼオライトによる水質軟化に関する基礎的研究
○橋本 直樹・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)
- P39. シラスの環境分野での有効利用 –シラスのアルカリ反応に関する研究–
○忽那 このみ・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)
- P40. 鉄共存下におけるゼオライトの合成反応に関する研究
○田中 佑佳・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)
- P41. ゼオライトとヒドロキシアパタイトのナノ複合体合成に関する基礎的研究
○増本 知穂・松枝 直人・逸見 彰男 (愛媛大・農)
- P42. 層状ケイ酸塩/ポリ乳酸 ナノコンポジットの調製 –層間カチオン種の影響–
○宇野 光 (物・材機構, 法政大・工)・田村 堅志・山田 裕久 (物・材機構)・守吉 佑介 (法政大・工)・八田 珠郎 (国際農研)
- P43. ラングミュア法によるセピオライトと両親媒性アルキルアンモニウムイオンとのハイブリッド超薄膜
○梅村 泰史・篠原 絵美 (防衛大・応用化学)
- P44. ビフェニル分子架橋型層状シリカハイブリッド多孔体の合成
○石井 亮・伊藤 徹二・蛭名 武雄・水上 富士夫 (産総研)
- P45. 高精製モンモリロナイトの調製とキャラクタリゼーション
○鈴木 啓三・高木 慎介 (首都大東京・環境)
- P46. 混合層状無機化合物のセシウムイオンに対するイオン交換特性
–高 pH 領域における考察–
○鈴木 憲子・小室 智一・神崎 やすし (昭和薬科大)
- P47. 電解質溶液で調整した粘土ゾル・ゲル中での水の自己拡散係数に関する研究
○大窪 貴洋 (日本原子力研)・山口 真 (産業創造研究所)
- P48. ベントナイト-砂混合材料の締固め特性 –ベントナイト配合率 70%のケース–
○伊藤 弘志 (クニミネ工業(株)黒磯研究所)
- P49. 変形追従型ベントナイト系遮水材の透水係数に及ぼす海水濃度の影響
甚野 智子・○塩田 耕三・久保 博 (大林組)
- P50. 有機ベントナイト等を利用した沈殿物キャッピング材の開発
○加藤 啓樹・志々目 正高 ((株) ボルクレイ・ジャパン)
- P51. 第 1 原理計算によるカオリナイトの弾性率
○佐藤 久子 (東京大院・理, CREST)・小野 寛太 (CREST, 高エネルギー加速器機構)・ジョンストン クリフ (Purdue University)・山岸 皓彦 (CREST, お茶大・理) 小暮 敏博 (東京大院・理, CREST)
- P52. 中国におけるパリゴルスカイトの 2, 3 の産状
○坂本 尚史・地下 まゆみ (千葉科学大・危機管理)・後内 貴胤 (昭和 KDE (株))

会場への交通：詳しくは、千葉科学大学ホームページ (<http://www.cis.ac.jp/access/>) にてご確認ください。

JR 総武本線を利用する場合

東京駅から銚子駅までは、千葉駅乗り換えの各駅停車銚子行き（東京からの所要時間：乗換え時間も含めて約3時間）か、特急しおさい（東京からの所要時間：約1時間45分）を利用してください。銚子駅にて、バス（千葉科学大学線）を利用し、「千葉科学大学マリーナキャンパス」停留所にて下車（所要時間：約10分、200円）してください。

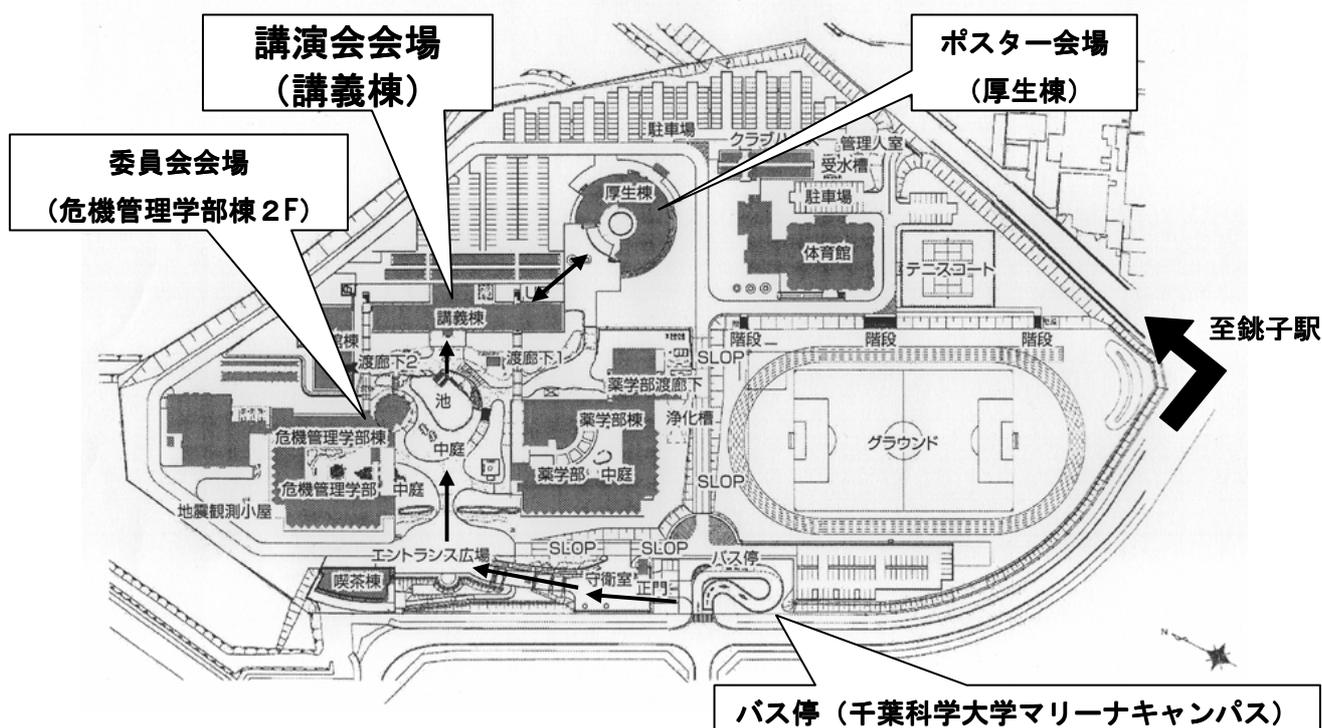
高速バスを利用する場合

JR 浜松町駅バスターミナル1番乗り場（貿易センタービル1F）か東京駅八重洲口前から、千葉交通バスか京成電鉄バスを利用し、東芝町（銚子駅入り口）停留所にて下車してください。バスルートは複数ありますが、どのルートでも東芝町（銚子駅入り口）停留所には停車します。同停留場から銚子駅前まで歩き、バス（千葉科学大学線）を利用してください（同上）。

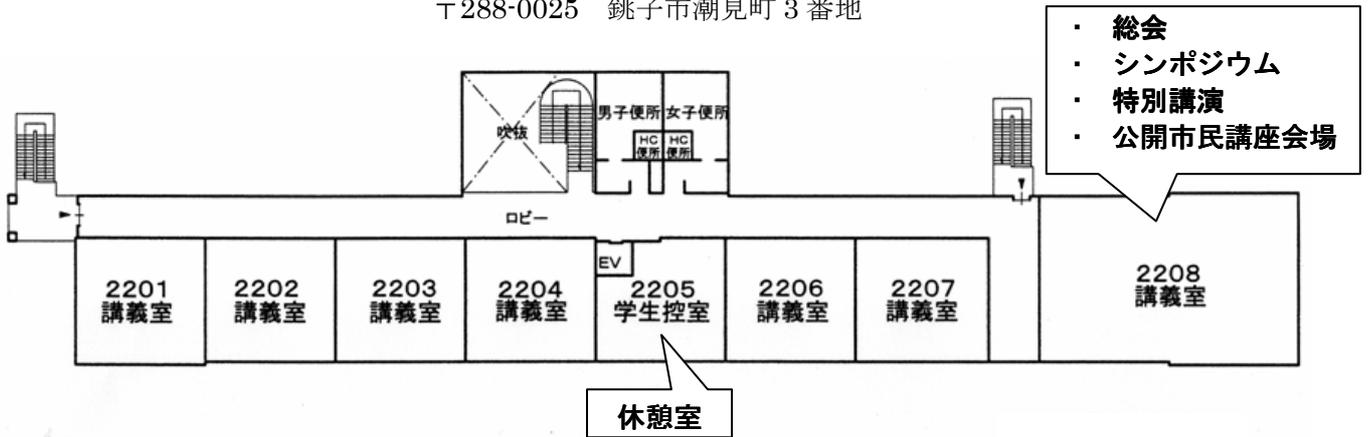
銚子駅発「千葉科学大学線」時刻表

（夏休み中に付き、休日ダイヤでの運行となります。）

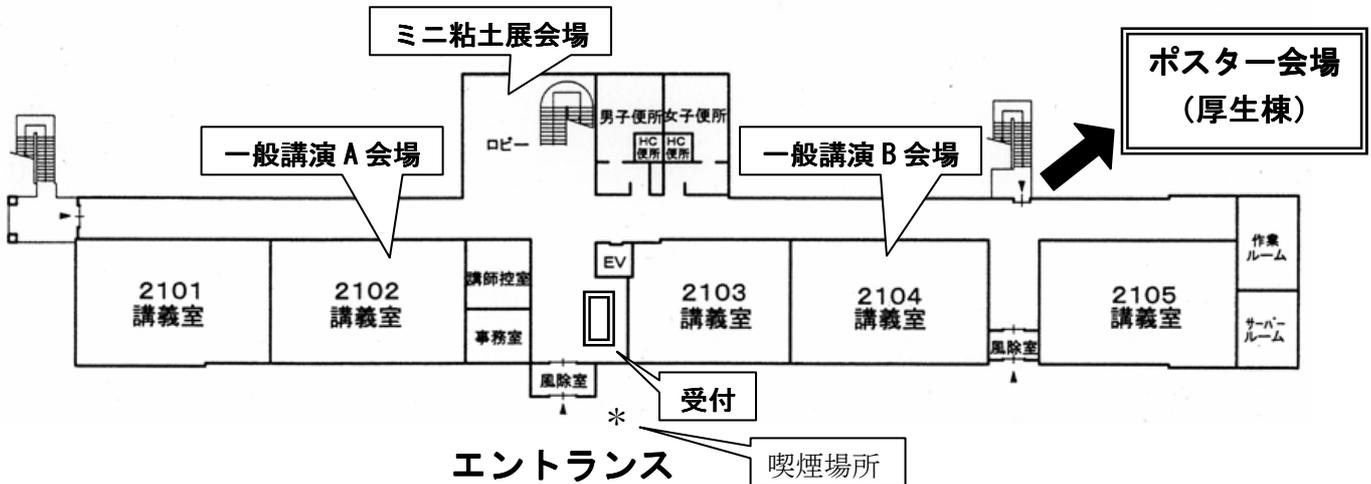
銚子駅発	マリーナ着	マリーナ発	銚子駅着
8:20	8:30	8:39	8:49
8:53	9:03	9:11	9:21
9:55	10:05	10:11	10:21
10:25	10:35	10:46	10:56
11:15	11:25	11:31	11:41
12:13	12:23	12:29	12:39
14:37	14:47	14:53	15:03
15:41	15:51	15:55	16:05
16:17	16:27	16:35	16:45
16:50	17:00	17:11	17:21
18:05	18:15	18:24	18:34



千葉科学大学 マリーナキャンパス 講義棟
〒288-0025 銚子市潮見町3番地



2階平面図



1階平面図

- 平成 18 年度常務委員会 (9 月 7 日 (木) 11 : 00 ~)
- 平成 18 年度評議委員会 (9 月 7 日 (木) 17 : 00 ~)
- 平成 19 年度常務委員会 (9 月 8 日 (金) 12 : 00 ~)
- 平成 19 年度評議委員会 (9 月 8 日 (金) 上記会議終了後)
- 「粘土科学」編集委員会 (9 月 9 日 (土) 12 : 00 ~)
- 「Clay Science」編集委員会 (9 月 9 日 (土) 12 : 00 ~)

以上の会議は危機管理学部棟 2F 4206 共同研究室にて行います。

平成 18 年 7 月 24 日

会員各位殿

日本粘土学会平成 18 年度総会の委任状について

謹啓，初夏の候，会員各位には益々ご清栄のことと存じます。

さて，来る 9 月 8 日（金）午前 11：00 より千葉科学大学マリーナキャンパスにおいて，日本粘土学会平成 18 年度総会を開催いたします。つきましては，会員各位のご出席をお願い致します。

もしご出席されない場合は，お手数ながらこの委任状に署名，押印の上，ファックスにて粘土学会事務局までお送りくださいますようお願い申し上げます。

委任状

日本粘土学会平成 18 年度総会に出席できませんので，当日の審議を

_____ 殿に委任します。

（上記ご記入なき場合は議長に委任したものとみなします）

平成 18 年 月 日

氏 名 _____ 印

日本粘土学会事務局

Fax : 03-5821-7439

